第 4 章
もっと使える便利な機能

■この章でおこなうこと

BroadStation の設定変更や、いろいろな使い方について説明しています。

4.1 通信環境を設定する

4.2 各種設定の変更と確認

4.1 通信環境を設定する

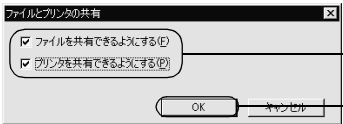
■ 他のパソコンと通信をする

BroadStation は 4 ポートスイッチングハブを内蔵しており、以下の手順で他のパソコンとのネットワーク環境を構築することができます。ここでは、Windows98 での手順を説明します。

ネットワークの設定

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［コントロールパネル］内の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3

［ファイルとプリンタの共有］をクリックします。

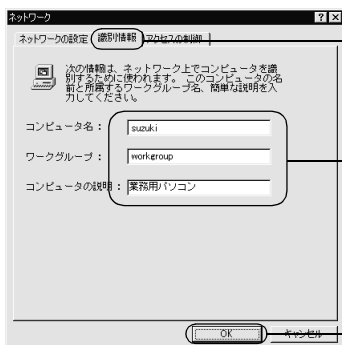
Windows Me/98 をお使いの場合は、「優先的にログオンするネットワーク」が「Microsoft ネットワーククライアント」になっていることを確認します。

4

［ファイルを共有できるようにする］および［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックして ON にします。
［OK］をクリックします。

5

［Microsoft ネットワーク共有サービス］が追加されます。

6

［識別情報］タブ（Windows95 の場合は、「ユーザー情報」タブ）をクリックします。

［コンピュータ名］－［ワークグループ］、および［コンピュータの説明］を確認します。

［OK］をクリックします。

［コンピュータ名］－［ワークグループ］には、半角英数字を入力することを推奨します。

⚠注意　一部の漢字やピリオド（.）などの特殊文字が含まれていると、ネットワークに接続できない場合があります。

⚠注意　ワークグループ名は、ネットワークで接続するすべてのパソコンに、同じ名前を設定してください。

7　「今すぐ再起動しますか？」と表示されます。
［はい］をクリックします。

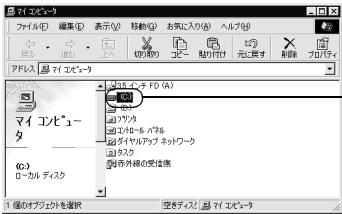
パソコンの共有設定

ドライブやフォルダの共有を設定します。

ここでは、［マイコンピュータ］の中の C ドライブを共有するときの手順を例に説明します。

1 デスクトップ上の［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

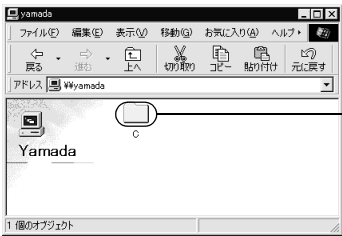
2

C ドライブのアイコンを、マウスの右ボタンでクリックします。
メニューから［共有］を選択します。

3

［共有する］のオプションボタンをクリックします。

「共有名」「コメント」「アクセスの種類」「パスワード」を確認または変更します。

［OK］をクリックします。

4 C ドライブのアイコンが、以下のように変わります。

他のパソコンとの通信

他のパソコンとの通信ネットワークへの接続確認が完了したら、他のパソコン（ネットワーク上のパソコン）と実際に通信してみましょう。

ここでは、Windows98 の画面を用いて説明します。

1 デスクトップ上の［ネットワーク コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
接続されているパソコンが表示されます。

2

通信したいパソコンをダブルクリックします。
通信したいパソコンが表示されないときは、「第 5 章　困ったときは」の「他のコンピュータが表示されない」（P91）を参照してください。

3

「パソコンの共有設定」（P64）で設定されたドライブが表示されます。
通信したいドライブをダブルクリックします。

4

ドライブの中身が表示され、アクセスが可能になります。

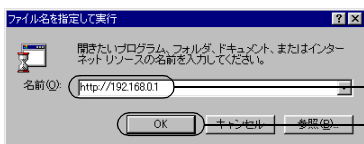
以上で、本製品を装着したパソコンから、LAN 上のパソコンへの接続が完了しました。
LAN を使用した、快適な環境でパソコンをお使いいただけます。

■ BroadStation の設定画面を表示する

BroadStation の設定画面は、以下の手順で表示できます。

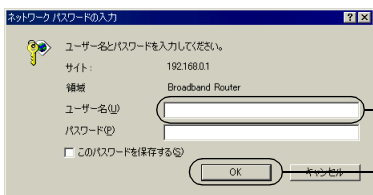
1 ［スタート］－［ファイル名を指定して実行］を選択します。

2

「名前」欄に「http://192.168.0.1」を入力します。

［OK］をクリックします。

BroadStation の IP アドレスを変更した場合は、その IP アドレスを入力します。

3

この画面が表示されたときは、「ユーザー名」に「admin」と入力します。

[OK] をクリックします。

⚠注意　設定画面を表示した状態で5分以上操作をしないで放置したのち操作を継続しようとすると、ネットワークパスワードの画面が現れ、ユーザ名とパスワードの入力を要求されることがあります。ここで再びユーザ名パスワードを入力して OK をクリックすると、設定画面の TOP ページが表示されます。
設定画面の右上にある「Help」などポップアップウィンドウを使用する一部の機能ではポップアップウィンドウの中に設定画面のトップページが表示されることがあります。そのときは一度ブラウザを終了し、もう一度手順に従って設定画面を開いてください。

4

WEB ブラウザが起動して、設定画面が表示されます。

設定画面が表示されないときは、「第 5 章　困ったときは」の「設定画面が表示されない」（P76）を参照して、ブラウザの設定を確認してください。

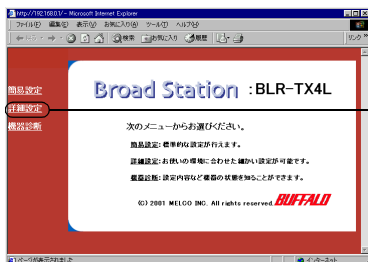
4.2 各種設定の変更と確認

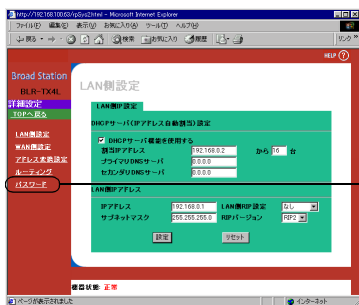
■ 設定画面のパスワードを設定する

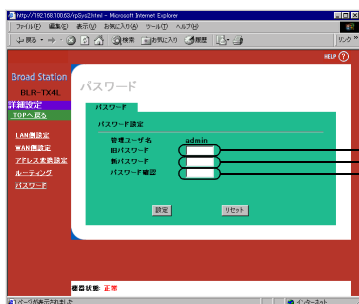
BroadStation の設定画面のパスワードを設定するには、以下の手順をおこないます。

1 「BroadStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。

2

1 クリック ［詳細設定］をクリックします。

3

1 クリック ［パスワード］をクリックします。

4

1 入力 「旧パスワード」欄に現在のパスワードを入力します。

2 入力 「新パスワード」欄に新しいパスワードを入力します。

3 入力 「パスワード確認」欄に再度パスワードを入力します。

⇒ 次ページへ続く

メモ　パスワードとして入力できるのは、半角英数字または "_"（アンダーバー）の組み合わせで、最大 8 文字までです。大文字小文字は別の文字として認識されます。

パスワードを忘れてしまった場合は、BroadStaion 背面の工場出荷設定スイッチを 7 秒以上押すと、出荷時のパスワードに戻すことができます。ただし、パスワード以外の設定もすべて工場出荷時の設定に戻ります。

工場出荷設定スイッチについては、別紙『ご使用の前に必ずお読みください』の裏面「5　各部の名称とはたらき」を参照してください。

■ ネットワークゲームやストリーム再生型アプリケーションを利用する / サーバを公開する

各種 NAT（アドレス変換）機能の設定をおこなうには、以下の手順をおこないます。

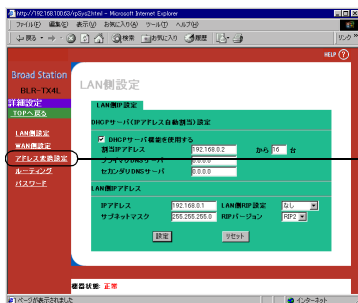
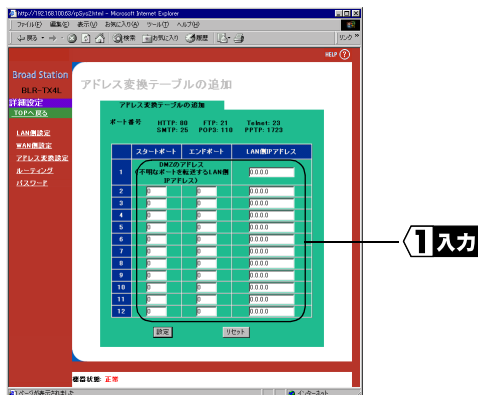
メモ　静的 IP マスカレード機能の動作確認済みアプリケーションは、AirStation/BroadStation コミュニティサイト (http://www.airstation.com/) をご覧ください。

1　「BroadStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。

2

［詳細設定］をクリックします。

3

［アドレス変換設定］をクリックします。

4 ネットワークゲームやストリーム再生型アプリケーションを利用したり、各種サーバーを公開する場合は、アドレス変換を設定します。

- DMZ のアドレス（不明なポートを転送する LAN 側 IP アドレス）
  インターネット側から送られてきたデータの宛先ポートが不明な場合に、そのデータが転送される LAN 上の IP アドレス（DMZ アドレス）を設定します。ここで設定されたアドレスで、ネットワークゲームや再生型アプリケーションが楽しめます。ただし、［アドレス変換テーブル］に［LAN 側 IP アドレス］を設定したポートについては、そちらの設定が優先されます。
- スタートポート、エンドポート
  アドレス変換機能を使用するポート番号を入力します。
  ※ BroadStation は TCP/UDP を自動認識して、ポートを使用します。
- LAN 側 IP アドレス
  インターネットからのアクセスの宛先となるプライベート IP アドレスを設定します。

メモ　アドレス変換テーブルの設定例

WWW（HTTP）サーバを公開する場合は、以下のように設定すると、インターネットからのアクセスを任意の LAN 側の WWW サーバ IP アドレスに転送できます。

- スタートポート、エンドポート
  ［HTTP（TCP ポート：80）］を入力します。
- LAN 側 IP アドレス
  WWW サーバ IP アドレスを入力します。
  例 :192.168.0.1

⚠注意　各種サーバの公開には、固定グローバル IP アドレスの取得が必要となります。ご注意ください。

5 ［設定］ボタンをクリックします。
「設定を完了しました」と表示されたら、アドレス変換の設定は終了です。

■ ルーティング機能の設定をおこなう

以下の設定で、各種ルーティング機能の設定ができます。

1 「BroadStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。

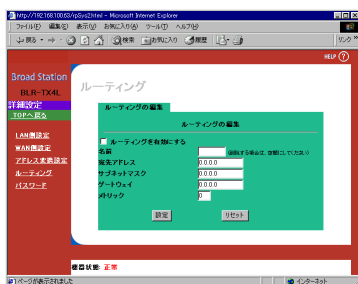
2

［詳細設定］をクリックします。

3

［ルーティング］をクリックします。

4 ［ルーティング編集］をクリックします。

5 この画面で各種ルーティング機能の設定が可能です。各機能については、以下を参照してください。

- **ルーティングを有効にする**
  設定したルーティングを有効にする場合は、チェックを入れてください。
- **名前**
  ルーティング名を設定します。テーブルの削除を行う際は、名前を空欄にして「設定」を押してください。
- **宛先アドレス**
  宛先の IP アドレスです。ルーティングの対象となる別のネットワークアドレスを設定します。
- **サブネットマスク**
  ルーティングの対象となるサブネットマスクを設定します。
- **ゲートウェイ**
  「宛先アドレス」への通信パケットはこのゲートウェイアドレスに送信され、ここを中継して宛先まで届けられます。
- **メトリック**
  宛先アドレスまでに超える必要があるルータ数です。入力は 1 ～ 15 までです。ルーティング時､経路が複数存在する場合はメトリック値が小さい経路が選択されます。

■ DHCP サーバ（IP アドレス自動割当）機能

以下の場合の設定例を説明します。

BroadStation の IP アドレス

　　192.168.0.1

DHCP で割り当てるアドレス

　　192.168.0.5 ～ 192.168.0.24

⚠注意　DHCP サーバ機能で割り当てる IP アドレスは、BroadStation の IP アドレスと同じネットワークアドレスとなるように設定してください。
ただし、IP アドレスの割り当て範囲内に Broadstation や他の固定 IP アドレスを持つ機器の IP アドレスが含まれないように、注意して設定してください。

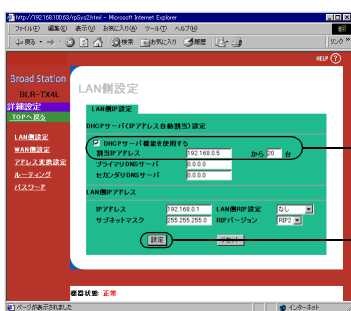
1 「BroadStation の設定画面を表示する」（P66）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。

2

［詳細設定］をクリックします。

3

以下の設定を入力します。
DHCP サーバ機能を使用する：
　　チェックをつける
割当 IP アドレス：
　　「192.168.0.5」から「20」台

「設定」ボタンをクリックします。

メモ　BroadStation を使用してインターネットに接続する場合は、以下の項目も設定します。

プライマリ / セカンダリ DNS サーバ：
プロバイダから DNS アドレスを指定されている場合、そのアドレスを入力します。

デフォルトゲートウェイ（「ルーティング」設定内）：
BroadStation の IP アドレスを設定します。

以上で設定完了です。

■　BroadStation の設定を出荷時設定に戻す

1 BroadStation が動作していることを確認します。

2 BroadStation の背面にある工場出荷設定スイッチを 7 秒以上押し続け、DIAG ランプが橙に点灯したらスイッチを離します。DIAG ランプが消灯すると、出荷時設定にリセットされます。

メモ　工場出荷設定スイッチについては、別紙『ご使用の前に必ずお読みください』の「5　各部の名称とはたらき」を参照してください。

⚠注意　出荷時設定に戻す前の Braodstation の LAN 側 IP アドレスが「192.168.0.x」以外だった場合は、設定用パソコンの IP アドレスの再取得・変更が必要な場合があります。